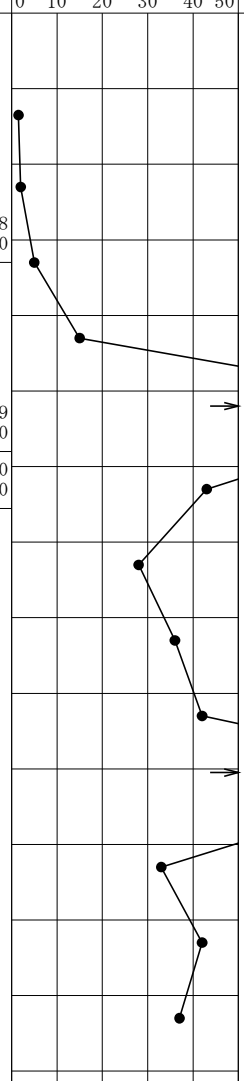
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	令和2年度　二級河川　沼田川水系　宗郷川　通常砂防事業に伴う業務委託
事業名または工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.2	調査位置	広島県 三原市 宗郷町					北緯	34° 22′ 22.5293″
発注機関	広島県 東部建設事務所 三原支所			調査期間	令和02年10月27日～令和02年10月31日			東経	133° 03′ 48.0725″
調査業者名	株式会社アース開発コンサルタント 電話(0823-70-3555)	照査技術者	吉原　英明	管理技術者	寺本　邦雄	コア鑑定者	竹上　浩嗣 地質調査技士 登録番号 第09041号	ボーリング責任者	杉山　勝美 地質調査技士 登録番号 第20353号
孔口標高	T.P. 103.12 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1
総削孔長	13.00 m							エンジン	ヤンマーNs110C　ポンプ：東邦地下工機BG3

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日
1	101.32	1.80		礫混じり砂質土		茶褐	非常に緩い		マサ土状の細～中粒砂が主体。 φ=2～50mmの亜角礫を混入。 全体に少量の粘土分を混入。 深度1.6m付近，有機物挟む。	
2	100.17	2.95		礫混じり粘土質砂		淡灰～茶褐	非常に緩い		砂は細～中粒砂が主体。 φ=5～60mmの亜角礫混入。 深度2.0～2.5m，含水比が高い。	10/28 3.30
3	98.12	5.00		粘土混じり砂		茶褐灰	緩い～中位		マサ土状の中～粗粒砂が主体。 全体に少量の粘土分を混入。 φ=2～30mmの角礫が点在。 風化土状を示す。	
5	96.62	6.50		砂礫		淡灰～茶褐	密な～非常に密な		φ=5～40mmの亜角礫が主体。 基質は粘土混じり砂状を示す。 礫種は花崗岩，泥質岩が主体。 コア長L=5cmの玉石確認。	10/29 5.80 10/30 5.80
7	96.12	7.00		玉石混じり砂礫		暗灰～茶褐	中ぐらい～密な		φ=10～40mmの亜角礫が主体。 基質は粘土混じり砂状を示す。 コア長L=5cmの玉石を混入。	
8	94.62	8.50		砂礫		暗茶灰			φ=5～30mmの亜角礫が主体。 基質は粘土質砂状を示す。 深度7.0～7.5m，やや含水比が高い。	
9	92.52	10.60		玉石混じり砂礫		淡灰～暗灰	密な～非常に密な		φ=10～40mmの亜角礫が主体。 基質は粘土混じり砂状を示す。 コア長L=3～13cmの玉石を混入。 礫種は泥質岩，花崗岩が主体。 玉石の硬度は中硬岩クラス。	
11	90.12	13.00		砂礫		暗灰～淡褐灰	密な		φ=5～50mmの亜角礫が主体。 基質は粗粒砂状を示す。 場所的に粘土分を少量混入。 下部は基質が密実で風化土状を示す。 礫種は花崗岩，泥質岩が主体。	
14										

標準貫入試験（N値 0 10 20 30 40 50）



N値	深度(m)	100mごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量
1.5	1.15	1	1		2
	1.55	200	200		400
2.0	2.15	1	1		2
	2.45		200		300
5.0	3.15	3	1	1	5
	3.45				300
15.0	4.15	5	4	6	15
	4.45				300
150.0	5.15	50			50
	5.25				100
43.0	6.15	11	17	15	43
	6.45				300
28.0	7.15	9	7	12	28
	7.45				300
36.0	8.15	11	15	10	36
	8.45				300
42.0	9.15	9	13	20	42
	9.45				300
150.0	10.00	50			50
	10.10				100
33.0	11.15	8	10	15	33
	11.45				300
42.0	12.15	13	15	14	42
	12.45				300
37.0	13.15	9	10	18	37
	13.45				300

原位置試験 深度(m)	試験名及び結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
						10/27
						10/28
						10/29
						10/30